



第20回
(2025年度)

ABS

アジア・ビジネススクール

Asia
Business
School

**ABSは、独自のカリキュラムで
グローバルに活躍できる次世代ビジネスリーダーを育成します。**

主 催	アジア・ビジネススクール運営協議会		
後援予定	大阪商工会議所・京都商工会議所・神戸商工会議所		
開催日程	前期（国内研修・大阪）	8月26日(火)～28日(木)	
	後期（タイ・バンコク）	9月14日(日)～20日(土)	
	フォローアップ会（大阪）	10月29日(水)	
参 加 費	60万円（研修費、航空運賃、宿泊費、消費税等を含む）		
参加対象	業務経験10年程度の若手経営幹部候補社員		

ご挨拶



アジア・ビジネススクール
運営協議会 会長 兼
スクール長

大坪 清

東南アジア諸国連合（ASEAN）地域のみならず、欧米を含む世界全域で2015年末に発足したASEAN経済共同体（AEC）が注目されています。域内人口は欧州連合（EU）を上回るおよそ6億5000万人で、域内総生産がおよそ3兆米ドルに達する巨大な経済圏が本格始動しています。中でも、かねてより製造拠点として産業集積を形成してきたタイは、地域的な利便性、社会インフラの整備に加え、ASEAN・メコン経済圏の中心地として、これまでに増して注目を集めており、我が国の企業にとりましても、これから新興国におけるビジネスチャンスをつのり捉え、成果に結び付ける経営戦略・事業戦略と、それをリードする次世代ビジネスリーダーが、いま、まさに必要とされています。

アジア・ビジネススクール（ABS）は、2002年に関西の主要経済団体が共同で設置した関西産業競争力会議において、その行動計画の一環として開設されたものであり、グローバルな視野と卓越した戦略策定能力を有して新たなビジネスに果敢に挑戦できるビジネスリーダーの育成に取り組んでまいりました。2003年の第1回ABSから、2024年の第19回までに、ABSに参加いただきました企業は116社、570名を超え、すでに多くのABS修了生が、国内外のビジネスの舞台で、その活躍が認められ高い評価を受けているところであります。

第20回目を迎えるABSでは、「ASEAN経済の中心地タイで考える、新アジア事業戦略」をテーマに据え、豊富な経験と専門知識を備えた一流の講師陣から、柔軟な思考でアジア・ビジネスを勝ち抜くためのノウハウを学ぶとともに、アジア各国ごとの市場に焦点をあてて、ボリュームゾーンをめぐるグローバル企業の戦略について、自らの視点で調査し、独自の発想による実践的なビジネスモデルの策定を行います。また、ABSは、普段は接することのない異業種の企業から選抜された優秀な受講生たちが、お互いに刺激を受けながら、将来の財産となるヒューマンネットワークを築いていく貴重な機会でもあります。

企業・組織において、人材育成は最も重要な課題の一つです。今回のABSにつきましても、グローバルに活躍できる次世代ビジネスリーダー育成のお役に立てるよう努めて参ります。ぜひ多くの企業・組織からご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



Asia Business School

ABSの 目的

アジア・ビジネススクール（ABS）は、関西の経済団体等が協力し、アジアでの競争に打ち勝ち、グローバルに活躍できる次世代ビジネスリーダーを育成するスクールです。

変化のスピードが速まり、世界市場が一体化していく中で、企業はこれまでの発想や思考の枠組みでは解決できない課題に直面しています。

ABSでは、グローバルな視点で、自ら新たな領域を開拓して、企業の成長に転化できる資質と能力を持った優秀な若手の人材を育成します。

Asia Business School

ABSの特長

自ら考え、行動する実践的カリキュラム

タイの首都バンコクを訪れ、現地での企業訪問・経営者講話に加え、チーム単位で活動する独自インタビュー調査によるビジネスモデル構築により、グローバルビジネスセンスとアジアビジネスの戦略立案能力を高めます。

各社の優秀な人材が集う相互研鑽の場

各社から選抜されたビジネスパーソンが集うため、ハイレベルな相互研鑽・他流試合の場が実現します。また、国内・海外研修における限られた時間内の密度の濃い事業計画策定は、参加者相互に強い絆を生み、修了後も繋がる人脈を形成します。

専門知識・起業等実務経験を有する講師陣

アジアビジネスに精通する大学教員や、タイで起業経験のある実務家・コンサルタント、異文化コミュニケーショントレーニングの専門家等を招聘します。講義のほか、参加者との討議・指導・評価も行います。



第20回 ABSについて

「ASEAN経済の中心地タイで考える、新アジア事業戦略」

第20回ABSは、アジア広域の事業拠点となっているタイ・バンコクを訪れ、タイの戦略的価値、市場としてのポテンシャルについて、企業訪問と現地経営者講話、ならびに各社で活躍する異業種メンバーとの侃々諤々の議論と独自市場調査を通して理解を深め、グローバルビジネスセンスとアジア戦略立案能力を高める。

開催日程

前期スケジュール(大阪): 8月26日(火)午前~28日(木)夕刻
後期スケジュール(バンコク): 9月14日(日)~9月20日(土)
フォローアップ会(大阪): 10月29日(水)午後

場所

前期: セミナーハウス クロス・ウェーブ 梅田
後期: タイ・バンコク市内
フォローアップ会: 大阪市内

参加対象

- 業務経験10年程度の若手経営幹部候補社員
- 将来、アジアビジネスを担当する幹部候補社員

募集人員

25名程度(先着順受付) * 申込締切は7月25日(金)です。

参加費用

60万円(研修費、航空運賃、宿泊費、消費税等を含む)
関西空港以外を利用する場合は別途、航空運賃の差額分が必要となります。

主催 アジア・ビジネススクール運営協議会
(関西経済連合会、関西経済同友会、関西生産性本部、
太平洋人材交流センター、企業、学識経験者により構成)

会 長: 大坪 清 公益財団法人 関西生産性本部 会長
ス 校 長

顧 問: 大林 剛郎 公益社団法人 関西経済連合会
国際委員会交流担当委員長

顧 問: 井上 礼之 ダイキン工業株式会社 名誉会長
グローバルグループ代表執行役員

後援予定: 大阪商工会議所・京都商工会議所・神戸商工会議所

※上記所属・役職は案内状作成時点(2025年5月)のものです。

【参加者の声】

- 日頃、交流することのない他企業の方と出会い、新たな人脈を作れたこと、国内で3日、タイで1週間を過ごして、日頃の業務で使わない頭を使えたことは非常に満足でした。
- チームで新しい意見を出し、事業としてまとめていくことが非常に難しく、良い経験をさせていただきました。
- 現地でのプログラム全てに刺激を受け、現地の町の状況や研修の視点で訪ねたことで、考え方を広く持つことができるようになりました。

ABSにこれまでご参加いただいた主な企業・組織

朝日化学工業、朝日テレビ放送、朝日ビルディング、アタカ大機、アルフレックスファーマ、池田銀行、イズミヤ、因幡電機産業、岩谷産業、エキスプレス、エネゲート、大阪ガス、大阪ガスネットワーク、大阪経済大学、大阪国際学園、大西、大林組、岡本無線電機、オムロン、カナデビア、川崎重工業、関西エアポート、関西経済連合会、関西大学、関西電気保安協会、関西電力、関西電力送配電、京都駅ビル開発、クボタ、クラレ、グンゼ、京阪神ビルディング、鴻池運輸、神戸製鋼所、国際協力銀行、堺化学工業、サントリーホールディングス、三洋電機、シークス、新興産業、新日鐵住金、伸和エンジニアリング、スギモト、住友ゴム工業、住友精密工業、住友倉庫、ダイキン工業、大丸興産、大丸装工、タカララインコーポレーション、タカラ産業、竹中工務店、デサント、デュフ ラインランド ジャパン、電通、東海パネ工業、東京エレクトロニクスデバイス、東洋紡、東洋アルミ・エコプロダクツ、東海東洋アルミ販売、東和薬品、西島製作所、長瀬産業、ナベリ、日清食品、日本インシュレーション、日本政策投資銀行、ハウス食品、パナソニック、阪急阪神百貨店、バンドー化学、阪和興業、ひかりのくに、日立製作所、日立造船マリンエンジン、毎日放送、丸紅、Man to Man、三井住友ファイナンス&リース、三井物産、三菱商事、三菱ケミカル、大和紙器、山本光学、ヤンマーエネルギーシステム、吉岡工業、ラビネット、レンゴー、ロート製薬 (順不同)

第20回 ABSの カリキュラム

カリキュラムのポイント

01 POINT アジアビジネスの“今”を理解する

充実した講師陣から、急速に拡大を続けるアジア市場で成功している企業のケーススタディを交えた最新のアジアビジネス事情と進出企業の課題などを学ぶ。また、現地企業の訪問や経営幹部との議論を通じ、熾烈な競争を勝ち抜くための経営戦略を触れる。

02 POINT グループワークによる実践的事業計画の策定

異業種メンバーから構成するグループ毎に、実際のビジネス現場での市場調査を行い、その結果を元に、実践的な事業計画を策定することにより、アジアビジネスで成功するために必要な思考法やノウハウを学習する。

前期（国内研修）

日時	場所	内容
8月26日(火)午前 ～8月28日(木)夕刻	セミナーハウス クロス・ウェーブ梅田	講義、ディスカッションを通じ、事業計画策定方法、アジアビジネスの現状について学ぶ。 (講師：大学教員、起業家、異文化コミュニケーション講師等)

後期（海外研修）

日時	場所	内容
9月14日(日)	タイ・バンコク市内	日本(関西空港等)→タイ・バンコク
9月15日(月) ～9月20日(土)	タイ・バンコク市内 バンコク市内ホテル	現地企業幹部との意見交換や企業訪問を通じ、アジアビジネスの“今”を学ぶ。 また、現地での調査活動を行い、アジアビジネスに関する実践的な事業計画を策定する。 (チーム単位でのインタビュー調査3～5社程度、現地施設見学、ウォークラリー等を予定)
9月20日(土)	帰国	グループで策定した事業計画の発表会を行い、評価と講評を受ける。 (評価員はABS指導教授、現地起業家、コンサルタント等から数名)
		タイ・バンコク→日本(関西空港等)

実施報告会・フォローアップ会

日時	場所	内容
10月29日(水) 午後	大阪市内	各チームによる事業計画の発表会、 交流会(第1回～第19回修了生合同)

前期
会場

セミナーハウス クロス・ウェーブ梅田

〒530-0026 大阪府北区神山町1-12

後期
会場

タイ・バンコク市内



キャンセル・催行中止について

■参加申込後の参加取消は、諸準備・手配の都合上、2025年8月5日(火)午前中まで承ります。なおそれ以降の参加取消は、参加取消により発生した経費相当額実費をご負担いただく場合があります。

■後期(海外)研修訪問地において、参加者の安全確保および研修実施に支障をきたす恐れがある場合(※)は催行中止といたします。なお、前期研修終了後に本理由による催行中止となった場合、前期(国内)研修費用のみ申し受けます。

(※)外務省が「渡航の是非を検討してください」「渡航の延長をお勧めします」と判断する場合は中止とします。

※記載の内容、講師、開催形式等は諸事情により、やむを得ず変更になる場合があります。

お問合せ先

アジア・ビジネススクール運営協議会事務局

(公財)関西生産性本部内 小松・川島

〒530-6691 大阪府北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

TEL.06-6444-6464/FAX.06-6444-6450